



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月27日

上場会社名 東海理化電機製作所

上場取引所 東名

コード番号 6995 URL <http://www.tokai-rika.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二之夕 裕美

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 籠橋 榮治

TEL 0587-95-5211

四半期報告書提出予定日 2022年10月27日

配当支払開始予定日

2022年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	266,927	15.5	3,919	43.2	11,929	46.0	7,967	56.1
2022年3月期第2四半期	231,124	26.6	6,903		8,171		5,103	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 15,653百万円 (194.7%) 2022年3月期第2四半期 5,312百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	87.26	
2022年3月期第2四半期	55.90	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	455,039	298,701	61.7
2022年3月期	447,834	285,538	60.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 280,598百万円 2022年3月期 268,712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		30.00		30.00	60.00
2023年3月期		30.00			
2023年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	530,000	8.8	10,000	8.6	15,000	3.6	6,000	68.1	65.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.7「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.7「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	94,234,171 株	2022年3月期	94,234,171 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,911,342 株	2022年3月期	2,937,578 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	91,311,587 株	2022年3月期2Q	91,286,923 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.当第2四半期連結会計期間において、通期連結業績予想値を修正しております。詳細につきましては、本日開示の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7
(セグメント情報)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は266,927百万円と、前年同四半期に比べ35,803百万円(15.5%)の増収となりました。利益につきましては、連結営業利益は3,919百万円と、前年同四半期に比べ2,984百万円(△43.2%)の減益となりました。連結経常利益は11,929百万円と、前年同四半期に比べ3,758百万円(46.0%)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は7,967百万円と、前年同四半期に比べ2,864百万円(56.1%)の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

半導体不足等の影響で昨年に比べ客先生産台数が減少し、売上高は128,128百万円と、前年同四半期に比べ5,147百万円(△3.9%)の減収となりました。営業損失は合理化努力があったものの、原材料の値上がりなどにより△5,022百万円となりました。

(北米)

円安による為替換算上の影響などにより売上高は65,081百万円と、前年同四半期に比べ16,569百万円(34.2%)の増収となりました。営業利益は売上高の増加などにより145百万円となりました。

(アジア)

客先生産台数の増加に加え、円安による為替換算上の影響などにより売上高は94,359百万円と、前年同四半期に比べ22,200百万円(30.8%)の増収となりました。営業利益は8,796百万円と、前年同四半期に比べ1,650百万円(23.1%)の増益となりました。

(その他)

売上高は19,716百万円と、前年同四半期に比べ5,291百万円(36.7%)の増収となりました。営業利益は911百万円と、前年同四半期に比べ317百万円(53.4%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金、棚卸資産などの増加により455,039百万円と、前連結会計年度末に比べ、7,205百万円増加いたしました。負債は、未払費用の減少などにより156,337百万円と、前連結会計年度末に比べ、5,959百万円減少いたしました。純資産は、為替換算調整勘定の増加などにより298,701百万円と、前連結会計年度末に比べ、13,163百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年7月28日の予想値を修正しております。詳細につきましては、本日開示の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,977	53,152
受取手形及び売掛金	81,137	88,022
電子記録債権	11,451	10,758
有価証券	4,801	5,000
商品及び製品	25,898	28,258
仕掛品	36,493	37,542
原材料及び貯蔵品	8,449	9,348
その他	11,580	12,678
貸倒引当金	△55	△46
流動資産合計	237,732	244,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,164	34,814
機械装置及び運搬具（純額）	32,429	32,826
その他（純額）	30,762	34,649
有形固定資産合計	97,357	102,290
無形固定資産		
その他	2,509	2,481
無形固定資産合計	2,509	2,481
投資その他の資産		
投資有価証券	63,084	57,498
その他	47,256	48,160
貸倒引当金	△105	△105
投資その他の資産合計	110,235	105,552
固定資産合計	210,102	210,324
資産合計	447,834	455,039

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,651	54,551
電子記録債務	10,631	9,770
未払法人税等	2,871	2,397
賞与引当金	9,021	8,972
製品保証引当金	1,060	1,244
その他の引当金	192	89
その他	44,082	38,256
流動負債合計	119,513	115,282
固定負債		
社債	10,000	10,000
役員退職慰労引当金	296	266
退職給付に係る負債	23,793	23,576
資産除去債務	72	72
その他	8,621	7,140
固定負債合計	42,783	41,054
負債合計	162,296	156,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,856	22,856
資本剰余金	25,872	25,863
利益剰余金	196,514	201,743
自己株式	△5,285	△5,238
株主資本合計	239,957	245,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,389	6,230
為替換算調整勘定	8,173	17,408
退職給付に係る調整累計額	12,191	11,735
その他の包括利益累計額合計	28,755	35,373
非支配株主持分	16,825	18,103
純資産合計	285,538	298,701
負債純資産合計	447,834	455,039

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	231,124	266,927
売上原価	203,979	239,484
売上総利益	27,144	27,443
販売費及び一般管理費	20,240	23,523
営業利益	6,903	3,919
営業外収益		
受取利息	129	205
受取配当金	238	257
持分法による投資利益	230	217
為替差益	505	6,675
その他	259	674
営業外収益合計	1,363	8,032
営業外費用		
支払利息	38	20
その他	57	2
営業外費用合計	95	22
経常利益	8,171	11,929
特別損失		
固定資産除売却損	—	25
特別損失合計	—	25
税金等調整前四半期純利益	8,171	11,903
法人税等	2,427	3,352
四半期純利益	5,743	8,551
非支配株主に帰属する四半期純利益	640	583
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,103	7,967

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	5,743	8,551
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	181	△2,199
為替換算調整勘定	△374	9,598
退職給付に係る調整額	△229	△456
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	160
その他の包括利益合計	△431	7,102
四半期包括利益	5,312	15,653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,689	14,586
非支配株主に係る四半期包括利益	623	1,066

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(ASU第2016-02号「リース」の適用)

米国会計基準を適用している在外子会社において、ASU第2016-02号「リース」(2016年2月25日。以下「ASU第2016-02号」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

ASU第2016-02号の適用により、借手のリースは、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	108,159	48,239	60,444	216,843	14,280	231,124	-	231,124
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25,116	272	11,715	37,104	144	37,248	△37,248	-
計	133,275	48,512	72,159	253,947	14,425	268,372	△37,248	231,124
セグメント利益又は 損失(△)	1,416	△1,493	7,146	7,068	594	7,663	△759	6,903

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△759百万円は、セグメント間取引消去であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	101,833	64,787	80,755	247,377	19,550	266,927	-	266,927
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,294	294	13,603	40,192	165	40,357	△40,357	-
計	128,128	65,081	94,359	287,569	19,716	307,285	△40,357	266,927
セグメント利益又は 損失(△)	△5,022	145	8,796	3,919	911	4,830	△911	3,919

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△911百万円は、セグメント間取引消去であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。